

エリーザベト国際コンクールを制した二人の奇跡のデュオ

Yuzuko Horisome
堀米ゆず子 (ヴァイオリン)
Valery Afanassiev
ヴァレリー・アフアナシエフ (ピアノ)

一本のヴァイオリンが紡ぐ宇宙、バッハ無伴奏
鬼才、ピアノの魔術師、アフアナシエフと共に
聴く、ブラームス「雨の歌」

——— 二つの才能をここに



Program

J.S.バッハ：
無伴奏ヴァイオリンのための
ソナタとパルティータより

Johan Sebastian Bach : From 6 Sonatas and Partitas for solo violin

ソナタ 第3番 ハ長調 / パルティータ 第3番 ホ長調
Sonata No.3 in C major, BWV 1005 Partita No.3 in E major, BWV 1006

シューベルト：
ヴァイオリンとピアノのためのソナタ イ長調

Schubert : Sonata for violin and piano in A major, D574

ブラームス：
ヴァイオリンとピアノのためのソナタ 第1番「雨の歌」

Brahms : Sonata for Violin and piano No.1 in G major, op.78

2022 12/4 (日) 2:00pm 開演 (1:15pm 開場)

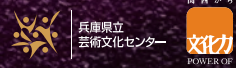
A席 4,000円 B席 3,000円 C席 2,000円 D席 1,000円 (全席指定・税込)

兵庫県立芸術文化センター KOBELCO 大ホール

〒663-8204 兵庫県西宮市高松町2-22 阪急西宮北口駅南改札口西側 / JR西宮駅より徒歩15分(阪急バス7分)

ご予約・お問合せ 芸術文化センターチケットオフィス 0798-68-0255 (10:00am-5:00pm 月曜休み ※祝日の場合翌日)

※未就学児はご入場いただけません。やむを得ない事情により、出演者、曲目等が変更となる場合があります。あらかじめご了承ください。※プレイガイドでの取扱については各プレイガイドにお問合せください。



発売日 9/10	チケット 取扱	●芸術文化センター 0798-68-0255 https://www.gcenter-hyogo.jp 芸術文化センター2階総合カウンター [9/11(日)より、残席がある場合のみ] ●チケットぴあ https://pia.jp/t/ ●ローソンチケット https://l-tike.com ●イープラス https://eplus.jp
-------------	------------	--

主催：兵庫県、兵庫県立芸術文化センター

兵庫でバッハの無伴奏全曲演奏完遂へ—— 堀米ゆず子とアフアナシエフ、最上級のペアリング

2020年11月、コロナ禍の中、

KOBELCO大ホールで開催された楽壇生活40周年の無伴奏リサイタルが記憶に新しい堀米ゆず子。

2013年の初登場以来、演奏を重ねる毎に新たな境地を開き、常に高みを駆け抜ける圧巻の演奏を魅せてくれます。

今回、前半はバッハのソナタ&パルティータ第3番に挑戦。ヴァイオリン一本だけで壮大な宇宙を造り上げたと言われるバッハの無伴奏。

前回公演とあわせて、このたび全曲演奏完遂となります。後半は、鬼才・ヴァレリー・アフアナシエフと初共演。

堀米のたつての希望で、共にエリーザベト王妃国際音楽コンクールを制した、世界的演奏家の二人の奇跡の競演が実現しました。

独特のピアニズム——傑出したピアニストでありながら、詩人や小説を執筆するなど文学者としての横顔をも持つ多才なアフアナシエフ。

最高峰の演奏家が奏でるヴァイオリンとピアノ、アンサンブルの妙にご期待ください。

堀米ゆず子(ヴァイオリン) Yuzuko Horigome, violin

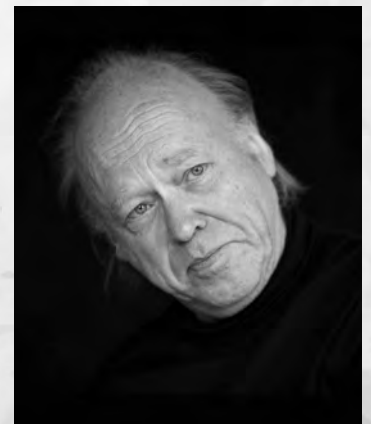
5歳からヴァイオリンを久保田良作氏のもとで始め、1975年より江藤俊哉氏に師事。1980年桐朋学園大学卒業。同年エリーザベト王妃国際音楽コンクールで日本人初の優勝を飾る。以来ベルリン・フィル、ロンドン響、シカゴ響、クラウディオ・アバド、小澤征爾、サイモン・ラトルなど世界一流のオーケストラ、指揮者との共演を重ねている。世界中の音楽祭に数多く招かれ、その中にはアメリカのマールポ音楽祭、クレームルの主宰するロックンハウス音楽祭、ルガーノアルグリッチ音楽祭(スイス)、フランダース音楽祭(ベルギー)などがある。室内楽にも熱心に取り組んでおり、これまでにルドルフ・ゼルキン、アルグリッチ、ルイサダ、クレームル、マイスキー、今井信子、メネセス、ナイディックなどと共演している。日本では、「モーツァルト:ヴァイオリン・ソナタ選集」「ベートーヴェン:ヴァイオリン・ソナタ全曲演奏」「J.S.バッハ/ブームスプロジェクト全6回」など多くのプロジェクトに取り組む。また、2011年東日本大震災に対し、微力ながら手助けになる事を願って、毎年ブリュッセルに於いて「復興コンサート」を行っている。2020年1月からは和歌山市加太を拠点に「堀米ゆず子国際ヴァイオリンマスタークラス」を行った。レコーディング活動も活発で、「J.S.バッハ:無伴奏ヴァイオリン・ソナタ&パルティータ全曲集」、「ブルッフ&ブームス協奏曲」、ニース響とのラロ:ヴァイオリン協奏曲集、シャン



ドル・ヴェーグ指揮カメラータ・ザルツブルグとのモーツァルト:ヴァイオリン協奏曲集、ブームス:ヴァイオリン・ソナタ集などがある。多くの国際コンクールの審査員にも招かれており、2016年5月より仙台国際音楽コンクールヴァイオリン部門審査員長に就任。2015年7月には、春秋社より著書「ヴァイオリニストの領分」を刊行。現在、ブリュッセル王立音楽院教授、マーストリヒト音楽院教授。使用楽器は、ヨゼフ・ガルネリ・デル・ジェス(1741年製)。公式ホームページ:<https://yuzukohorigome.com/>

ヴァレリー・アフアナシエフ(ピアノ) Valery Afanassiev, piano

モスクワ生まれ。1968年バッハ国際コンクール、1972年エリーザベト王妃国際音楽コンクールで優勝。1974年に政治亡命者としてベルギーに保護を求め、現在、同国で暮らしている。西側への亡命後、ヨーロッパはもとより、日本、中国、オーストラリア、アメリカ合衆国などで演奏活動を続けてきた。日本においては1983年にヴァイオリニストのギドン・クレームルの共演者として初来日。1987年の第3回「東京の夏」音楽祭のソロリサイタルでは熱狂的な成功を収め、以来日本へはたびたび来日している。アフアナシエフはこれまでに、みずから執筆した解説を添えたアルバムを約70作リリースしている。現在、ソニー・クラシカル・レーベルと録音契約を結び、6枚組の最新ボックス・セット『テスタメント(遺言)/私の愛する音楽』は、2019年度の音楽之友社「レコード・アカデミー賞」(特別部門)に輝いた。2008年には、アフアナシエフのドキュメンタリー番組「漂白のピアニスト アフアナシエフもののあはれを弾く」がNHKハイビジョン特集で放送された。作家でもあるアフアナシエフは、ロシア語、フランス語、英語で数々の小説、詩集、随筆集を出版。《展覧会の絵》と《クライスリアーナ》から靈感を得た2つの劇作品では自らピアニストおよび俳優として4か国語で上演した。



<チケットご購入のお客様へお願い>

新型コロナウイルス感染予防対策にご協力をお願いします。

※芸術文化センターでのご購入時には、来場者情報把握のため、先行予約会員(無料)へのご登録をお願いしております。なお、お一人様2枚までとさせていただきます。※入場者数を制限して販売する場合があります。※プレイガイドでの販売はインターネットのみとさせていただきます。取扱いについては各プレイガイドにお問合せください。※37.5℃以上の発熱がある方は入場をお断りさせていただきます。※マスクを着用されない方はご入場いただけません。(マウスシールド不可) ※感染の再拡大等により、公演の中止や、公演内容、座席配置等が変更となる場合がございます。※やむを得ない事情により、出演者・曲目等が変更となる場合があります。あらかじめご了承ください。

ご来場前にウェブサイト掲載の(当センターをご利用のお客様へ)をご確認いただけますようお願いいたします

